

注)各項目について、の枠内に入力してください。

上書き保存を忘れないようにしてください。

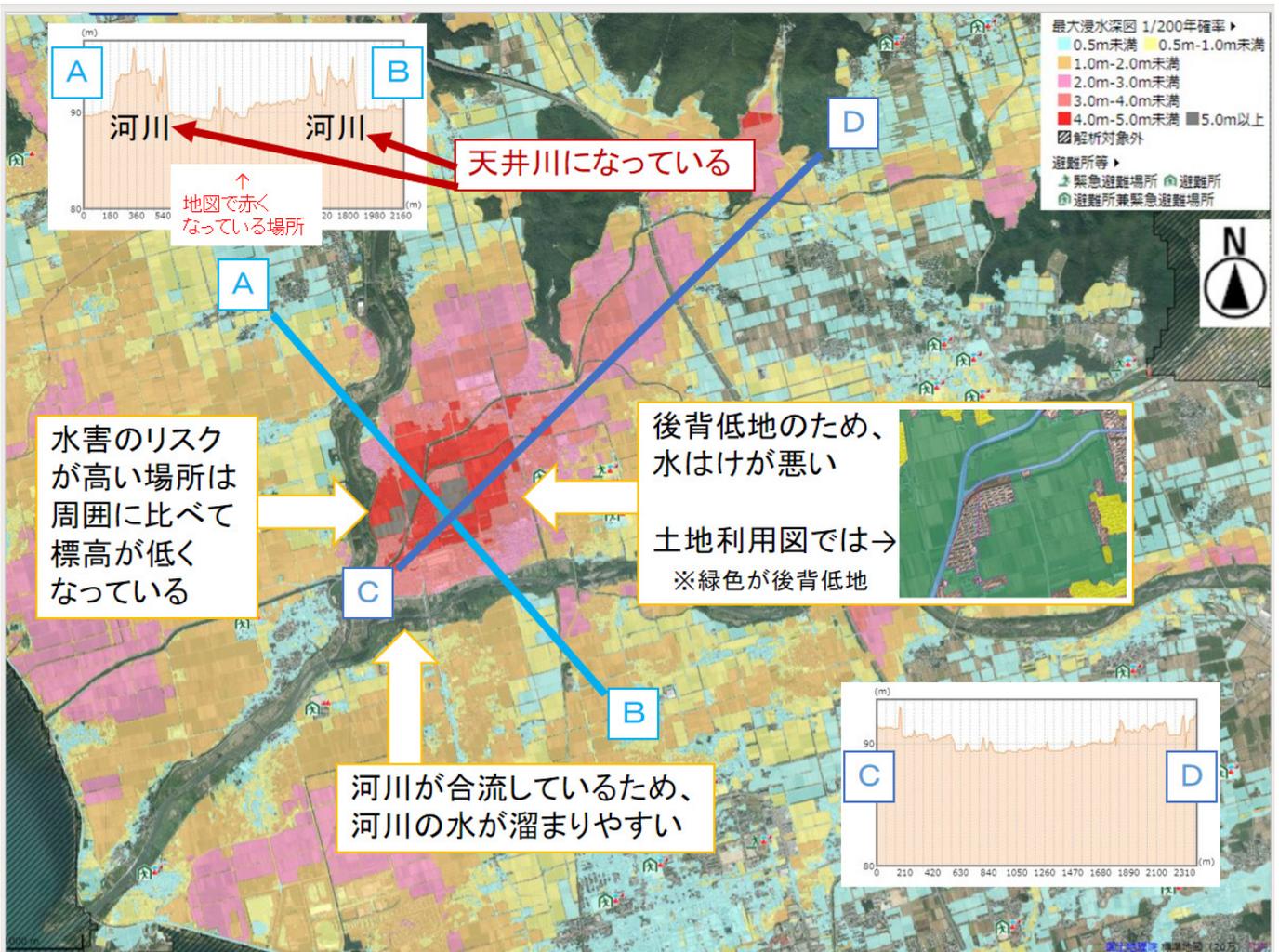
1. 学習課題

水害が起こる可能性が高い地形には、どのような特徴があるか。

2. 仮説(予想)

河川の近くの土地が低くなっている場所は、浸水被害が想定される。

3. 調査結果



デジタル探究ノート(記入例)「日本の自然環境」

4. 考察

【a. 最初の考察】

河川の氾濫が起こるような降雨があった場合、浸水被害が想定される区域の地形の特徴は、周囲よりも標高が低いことが考えられる。

↓ ※aよりもbの内容の方が深まることを目指します。

【b. 他者との共有による振り返り後の考察】

河川の氾濫が起こるような降雨があった場合、浸水被害が想定される区域の地形の特徴は、周囲よりも標高が低いことが考えられる。他の班も同様の調査結果を示していたことから、この考えは妥当なのではないかと考えられる。A班の考察では、堤防などが決壊した場合、流れ込んだ水が溜まりやすく、はげにくい特徴も関係すると考えられていたが、自分たちの調査結果からも同様の考察ができる。さらに、場所によっては天井川となっていることも考えられ、地形の特徴が複合的に関わっていることが分かる。

5. 結論

河川の氾濫が起こるような降雨があった場合、浸水被害が想定される区域の地形の特徴は、周囲よりも標高が低いことが考えられる。また、堤防などが決壊した場合、流れ込んだ水が溜まりやすく、はげにくい特徴も考えられる。さらに、場所によっては、天井川となっていることも考えられ、地形の特徴が複合的に関わっていることが分かる。

6. 自己評価

自分自身の 考えの整理	他者と調査結果・ 考察を共有	考察の記述における 科学用語の使い方
A	A	A